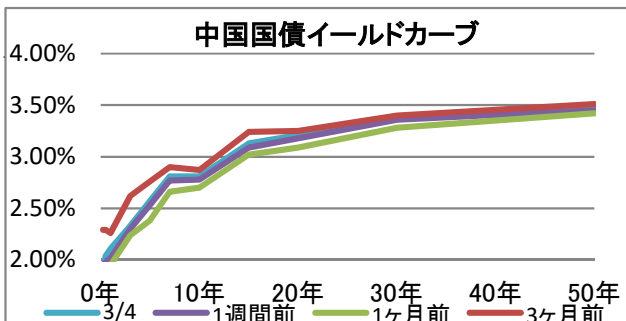
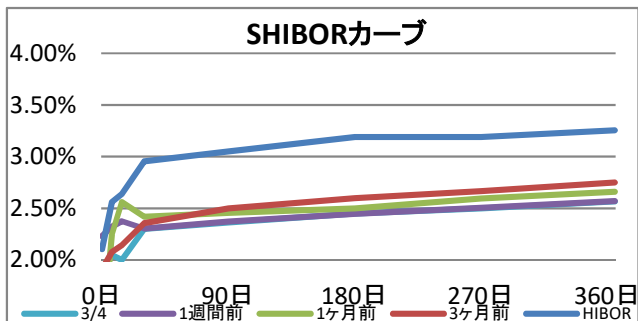


## ①市場概況

基準レート		2022/3/4	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3288	-0.0058
	JPY/CNY	5.4732	-0.0103
SHIBOR	3M	2.3620%	-0.0120%
国債利回り	10年	2.81%	+0.03%
上海総合指数		3,447.65	-3.76



### (1) 概況

国際金融市場では、出口の見えないウクライナ情勢により原油価格の高騰が続き、欧米の株価は大きく調整。特にロシアによるザポリージャ原発攻撃が伝わると、欧州の株価や通貨が大きく下落し、債券が買い戻されている。

中国金融市場では、ウクライナ情勢悪化や欧米市場急落の影響は限定的で、週末に開幕する全人代を控えて小動きに終始している。外為市場でも高値水準にある人民元の更なる上昇を中国政府が望んでいないとの懸念が強く、全人代を前に狭いレンジ内での取引が続いている。

中国では、ウクライナ情勢が悪化する中でパラリンピックに続き、全人代が開幕。習主席は全人代に先立ち中央全面深化改革委員会を開催し、ガバナンス体制を有する世界一流企業の育成促進や産業チェーンとイノベーションの融合を重視する姿勢を示した。全人大では政府活動報告が行われ、2022年について「六穩六保」を継続し、「穩中求進」を堅持する方針の下、マクロ経済政策の有効性を高め、市場主体の活力を高め、改革開放を進展させるとしている。財政政策は効率性と持続可能性を、金融政策は柔軟性と適切性を重視し、改革開放による全国統一大市場の建設やデジタル化を促進し、貿易拡大と外資活用を支援する。また、金融監督については、財税金融体制改革の中で、監督強化、中小銀行の株主構成とガバナンスの整備と不良債権処理に言及している。また、銀保監会の郭主席は、金融監督強化により金融機関が健全化していることやロシアへの経済制裁による中国の金融経済への影響は依然不明ながら大きくないとの見解を示した。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日8,100億元に対し、新規リバースオペ3,800億元を実施して4,300億元を吸収している。これは、2月末越えの記録的な規模の資金供給を回収していることによるもの。

### (3) 主な経済指標

- ・国家統計局PMI (2月) は、製造業が50.2% (1月50.1%)、サービス業が51.6% (同51.1%)、総合で51.2% (同51.0%) と小幅改善。ただし、大中企業が改善する中、小企業では悪化し、雇用の回復も足踏みの状況。
- ・財新PMI (2月) は、製造業が50.4 (1月49.1) に改善する一方、サービス業が50.2 (同51.4) に大きく低下し、総合は50.1 (同50.1) と前月と同水準となった。製造業は海外需要の低下にもかかわらず多くの項目で改善したが、サービス業はコロナ感染拡大の影響もあって受注、雇用の悪化により大幅に低下している。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9020%	1.9300%	2.0500%	
1W	2.0480%	2.2600%	1.9000%	1.9000%
2W	2.0000%	2.5000%	2.1500%	1.9000%
1M	2.3000%	2.5000%	5.5000%	2.3400%
3M	2.3620%	3.8000%	2.5000%	2.3200%
6M	2.4490%	3.5500%		2.4500%
9M	2.5000%	3.4500%		2.5200%
12M	2.5660%	2.6500%		2.5900%

中国人民銀行の金融調節が3月に入って大幅な回収となったが、全人代を控えて金融市場に混乱等はなく、足元金利も2%を下回り、四半期末に向けた動きも限定的。ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出会いを除き限定的となっている。

NCDは活発な取引が続いているものの、四半期末越えとなるターム物の金利水準はやや上昇し、1ヶ月と3ヶ月が2.30-35%前後、6ヶ月が2.45%前後、1年が2.55%~2.60%で取引されている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.10%	0.02%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.35%	0.45%
6M	0.60%	0.70%
12M	0.70%	0.75%

パウエルFRB議長が3月に0.25%の利上げすることが適切と議会で証言したことから、過度の利上げ懸念が後退し、金利水準は概ね横ばい推移となった。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10%、3ヶ月は0.40%、6ヶ月は0.65%をそれぞれ挟んだ取引が続いているが、出会いは限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.89%	1.99%	2.31%	2.45%	2.69%
6M	2.04%	2.04%	2.41%	2.51%	2.76%
1Y	2.11%	2.11%	2.58%	2.60%	2.86%
3Y	2.33%	2.63%	2.89%	3.01%	3.58%
5Y	2.57%	2.86%	3.30%	3.45%	4.29%
10Y	2.81%	3.14%	3.63%	3.81%	4.68%

債券市場では、中国人民銀行による資金吸収や景気回復期待、更に全人代後の債券発行急増による需給悪化懸念等から利回りは上昇しやすい地合いながら、世界的にウクライナ情勢により利回りが急低下していることや、全人代の開幕を控えていることから上昇幅は限定的となっている。

イールドカーブは、総じて上昇する中で短期債利回りの上昇幅が相対的に大きく、フラットニング。クレジットスプレッドに有意な変化は見られない。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.0 / 28.1
1M	141.5 / 142.0
3M	377.0 / 380.0
6M	668.0 / 670.0
9M	925.0 / 936.0
12M	1155.0 / 1159.0

対ドル基準レートは6.3288と前週末比-58pipsのドル安元高、対円基準レートは5.4732と同-103pipsの円安元高と対ドルでは小幅ながら元高となった。6.31の下では大手行の買いが噂され下値は固い一方、ロシアからの資金流入も含めてウクライナ情勢の悪化に伴うリスク回避の元買いから上値も重く、全人代の開催を控えて6.31を挟んだ小動きに終始。

先物は、米ドル金利水準の上昇幅縮小と国外からの投資資金の流入による拡大傾向が続き、1年物は1,100台後半に拡大している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.17%		1.97%
6M	2.19%	2.42%	2.01%
9M	2.20%	2.45%	2.04%
1Y	2.22%	2.51%	2.06%
3Y	2.40%	2.79%	2.33%
5Y	2.61%	3.04%	
7Y	2.75%	3.21%	
10Y	2.90%	3.38%	

スワップ金利は、短期の基準金利が低下傾向となる中、債券利回りにつれて上昇している。ただし、中長期債券利回りの変動幅は限定的だったことから、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドの変動は限定的。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。